

フランス語形容詞 *joli* と *mignon* の意味的比較

水落 理子

1. はじめに

一般的に日本語で「かわいい」と訳されるフランス語の形容詞として *joli* と *mignon* が挙げられる。しかし日本語に比べて多義的な語が多い傾向のあるフランス語において、同じ「かわいい」を表す際に *joli* と *mignon* は必ずしも一致するわけではない。本稿では辞書を用いて観察をした後、それに基づく仮説を立てる。その仮説の検証を用例観察を通して行い、分析結果に基づき *joli* と *mignon* の意味の差異を考察する。

2. 各形容詞についての辞書を用いた考察

まずいくつかの辞書を用いて、各形容詞がどのように記述されているかを確認する。

joli について

【1】 *Le Petit Robert*

1. Qui est agréable par sa gentillesse, son enjouement.
2. Très agréable à voir.
3. Digne de retenir l'attention, qui mérite d'être considéré.
4. Amusant, plaisant.
5. Un individu peu recommandable.

【2】 *Trésor de la langue française*

1. Qui suscite, lorsqu'on le regarde, un agrément ou un plaisir, qui peut n'être que superficiel, par son caractère gracieux et bien fait.
2. Qui suscite de l'agrément et du plaisir (qui peuvent n'être que superficiels) par ses sonorités.
3. Qui suscite de l'agrément par certains de ses aspects ou apporte de la satisfaction du point de vue de sa finalité.
4. Qui mérite d'être pris en considération par son importance ou sa qualité.
5. Déplaisant par ses manières, son comportement. Dont la vue procure du désagrément ou est difficilement soutenable.

これらの辞書において視覚や聴覚が関係することが考えられる。また *agrément* や *plaisir* というような記述も注目点である。

【3】 ロワイヤル仏和中辞典

1. きれいな、かわいい、可憐な
2. (話し言葉で) かなりの、相当の
3. おもしろい、気のきいた；(反語的に) ひどい
4. (古い用法) 愛想のよい、優しい；優雅な、色っぽい

mignon について

【1】 *Le Petit Robert*

I 1. Qui a de la grâce et de l'agrément, dans la petitesse, la délicatesse.

2. *Furet mignon*, coupé dans la pointe du furet.

3. Aimable et gentil, complaisant.

II Personne mignonne (en parlant des enfants, des jeunes, gens).

【2】 *Trésor de la langue française*

1. (L'accent est mis sur la petite taille) Qui charme par sa délicatesse, sa petitesse

2. (L'accent est mis sur le côté gentil et tendre) Qui charme par sa gentillesse, sa complaisance

3. Comme appellative d'affection ou dans des emplois à valeur hypocoristique

これらの辞書において *délicatesse* や *petitesse* が重要であると考えられる。また *gentil* や *complaisant* の記述も目立つ。

【3】 ロワイヤル仏和中辞典

1. かわいらしい、愛らしい

2. 親切的な、優しい

3. (料理) *filet-*. フィレミニヨン

—n.

1. 坊やお嬢ちゃん (*子供・若者に対する愛情語)

2. (古い用法) お気に入りの子；愛人

3. *joli* の観察

辞書の観察を踏まえて、例文観察をしながら *joli* の用法を明らかにしてゆく。

3.1.1. *joli* と *beau* の比較

ここで *joli* の用法をより明確にするため、仏辞書や類義語辞典等で挙げられることの多い *beau* との比較を行う。両形容詞が同じ名詞を対象とした例文を用いて分析をしてゆく。

辞書を参照した結果、*beau* の記述を大まかにまとめると、*beau* における重要な基本概念はある規範や常識を超越して優れたものによって引き起こされる称賛や感心の感情であり、また並外れ

た「美しさ」に対する感情である。さらに *beau* が対象とするものは生物や無生物という分類だけでなく、行為や感情等幅広い。以上のことを踏まえて *joli* との比較を行う。

- (1) *Postez une jolie photo de votre robe de mariée ou de votre coiffure. (Femme actuelle, 10/05/2011)*
(あなたのウェディングドレスや結婚式ヘアアレンジの写真を投稿してください)
- (2) *Nos plus belles photos de chats. (Femme actuelle, 15/12/2013)*
(かわいすぎる猫写真集発売！)

この2つの例文は両形容詞とも *photo* を修飾しており、対象は物である点、視覚を通して対象を認知している点も共通している。(1) では写真投稿ページについての文であることから、*jolie photo* は「読者が自分で良いと感じた写真」と考えられる。一方 (2) では写真集の *photo* についてである。不特定多数に向けられている写真集の写真は「一般的にかわいいと思われる猫のイメージ」が提示されているため、*belle* で修飾されていると考えられる。

3.1.2. *joli* との意味的相違

上に挙げた2つの例文において、対象は視覚を通じて認識されることは共通していた。しかしそれぞれ *beau* の例文では *beau* の対象が一般的な共通イメージとなっていた。一方 *joli* については「個人的に良いと思うもの」という評価がなされている。つまり *beau* は理想としているものとの比較によってなされる評価判断であることに対して、*joli* は理想との比較は関係なく、発話者個人が刺激を受容した結果の *agrément* や *plaisir* の感情であると考えられる。

3.2. *joli* の用法についての仮説

これまで見た辞書の記述や *beau* との比較を考慮し、*joli* の用法について以下のような仮説を立てた。

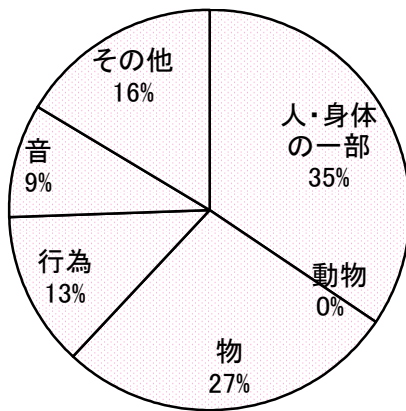
- ① 対象の表面上のことについて言及する。
- ② その対象の知覚は視覚と聴覚が関わる。対象は主に生物の場合は子どもや若者、または小動物であることが多い。無生物の場合は特に限定はない。
- ③ 視覚または聴覚を通して刺激を受容し、その刺激が到達した結果、対象について「こころよい、感じが良い (*agrément* や *plaisir*) 」という感情が生まれた際に *joli* と言える。
- ④ 対象は行為にもなる。その際、対象となる行為が行為の受け手に完全に到達・実現したうえで、対象の重要性や対象について良い評価を与える場合に *joli* と言える。
- ⑤ 発話者による対象の評価は美徳的な理想、一般的に受容される理想との比較とは無関係である。

3.3. *joli* の例文分析

3.2. で立てた仮説の妥当性を検証するため、例文を分析してゆく。なお例文において *joli* が対

象とするものの割合は以下のものであった。

表 1 joli の対象の割合



- (3) Quoi, parce que j'ai dit qu'elle était jolie? (『ふらんす』第 79 巻第 10 号 10 月号、白水社、COMME UNE IMAGE シナリオ、 p.96)

(なんなんだ？彼女が素敵だって言ったからか？)

場面：女性歌手の父親がコンサートで別の女性歌手を見て褒め

対象：女性

発話者は他の女性歌手を「見て」素敵だと言ったことから視覚が関係していることがわかる。また対象の女性歌手の評価は発話者個人的な考えであり、他のものとの比較はされていない。

- (4) Votre silhouette sera plus tonique et plus jolie. (*Femme actuelle*, 30/05/2011)

(あなたのボディシルエットはもっと強く、もっと美しくなる！)

場面：スポーツによるダイエットについての記事

対象：ボディシルエット

対象は人間の体の一部である。シルエットに言及しているため視覚が関係し、各個人にとって「見た目がこころよい脚 (すらっとしている、ケアされている等)」というイメージであると考えられる。

- (5) Pour les petits budgets, découvrez notre sélection des plus jolis cadeaux déco à moins de 20 euros à offrir à sa maman pour la Fête des mères. (*Plurielles*, 29/04/2013)

(20 ユーロ以下の予算で最高にかわいい母の日プレゼントを選ぼう！)

場面：母の日プレゼントカタログ

対象：プレゼント

プレゼントカタログなので視覚が関係している。この場面における対象はライターや読者、また受け取るであろう母親が個人的に *agrément* や *plaisir* を感じるようなプレゼントとなっている。

(6) *La jolie victoire de Marion Bartoli. (Femme actuelle, 06/07/2013)*

(マリオンバルトリ選手大勝利！)

場面：フランス人の女性テニスプレイヤーがウィンブルドンで勝利した記事

対象：勝利（したこと）

対象は行為である。この場面において、*joli* は単に行為に対するプラスの評価だけでなく、「さすが」「おめでとう」というような賞賛の気持ちも含まれた評価である。また他の選手との比較はされていない。

(7) *C'est joli!*

(正解！)

場面：授業中問題に答えた学生に対して先生が言う

対象：学生の解答

これは実際に本稿筆者が日常生活で経験した場面である。学生は黒板に正答を記述したので、視覚的な良さと、正解を答えるという行為に対して「すごい、さすが」というようなニュアンスを含めたプラスの評価を与えている。

(8) *Mais c'est super joli à entendre. (東京外国語大学フランス語話し言葉コーパス)*

(すごくきれいな曲ね)

対象：音楽

対象が曲なので聴覚が関係しており、発話者にとってころよい曲であったことがわかる。

(9) *Ensuit le printemps qui est joli. Vous vivez avec les fleurs les oiseaux. (ESLO2)*

※一部改

(冬の次は春がやってくるね。すてきな季節だよ。花も咲くし鳥たちもいるからね。)

場面：冬が好きではないと言った後の発言

対象：春

ここでの春は、花が咲いている風景（視覚刺激）と鳥が鳴いている様子（聴覚刺激）という複合的なイメージが思い浮かべられる。*joli* という単語によって春のイメージや感覚が喚起されて

いるとも言える。

3.4. 例文分析の結果

joli の対象としては人や物が比較的多い。また音に関する例文や複合的な感覚で表されている例文も見つかった。このことから joli の用法には視覚や聴覚が関係しており、特に視覚対象が圧倒的に多いことがわかった。他の味覚・嗅覚・触覚については例文があまり見つからず、例えば joli vin が出てくる例文はワインの味が joli というのではなく、ワインのボトルが joli ということを言っていたり、嗅覚について joli parfum は香りではなく香水のボトルが joli というように、やはり視覚対象の例文が観察された。人が対象となった場合はすべての例文において対象が女性であり、物について見ると多くが女性に関するものや女性を連想させるもの（アクセサリーや化粧品等）であった。この点は辞書の記述とほぼ一致している。例文収集の際に男性向けの雑誌も用いたが、男性に関するものを対象とした例文は見つからなかった。joli は視覚対象が圧倒的に多いという事実から joli の用法においては見た目の agrément や plaisir が重要であると考えられる。さらに全体的な視点ではなく「○○のところが joli」という部分的な視点で、かつ理想等との比較は行われたい個人的な評価であった。行為に対する評価に関しては、joli がプラスの評価を示し、それは単なる良し悪しの評価ではなく賞賛、驚き、祝福等の感情も含まれていることがわかった。これは重要性や有利さについて言及されていた辞書の記述とは異なる。以上をまとめると、「何らかの感覚を通じて喜びを得る」という点が joli の基本的意味であると言える。3.2 で立てた仮説について言及すると、①、③、⑤ はおおむね正しい。仮説②は、対象の知覚には主に視覚と聴覚が関わることは正しいが、対象は生物・無性物の両方において女性や女性に関係するものが多く、行為についても認知には視覚や聴覚が関わるということがわかった。仮説④については、ある行為への評価は joli と言うことによってプラスの評価を与えるが重要性を表すわけではなく、驚きや賞賛、祝福の感情も含まれることが明らかとなった。

4. mignon の観察

Joli と同様に mignon の用法を明らかにしてゆく。

4.1. mignon の用法についての仮説

辞書の記述等を踏まえ、mignon の用法について以下のような仮説を立てた。

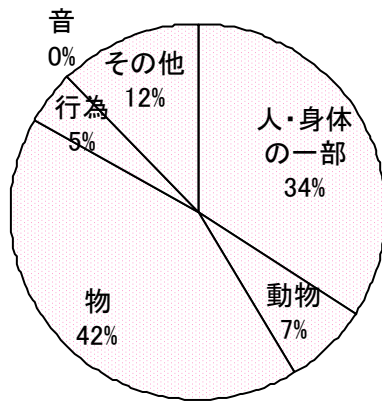
- ① 対象は主に小さいものや繊細なものである。
- ② 対象そのもの、または対象となる行為によって相手が温かい気持ちになったり、感動した際に mignon といえる。
- ③ 対象そのものに何らかの魅力がある。

4.2. mignon の例文分析

4.1. で立てた仮説の妥当性を検証するため、例文を分析してゆく。なお例文において mignon が

対象とするものの割合は以下のようであった。

表2 mignon の対象の割合



- (10) Il est mignon et très gentil. (『美少女戦士セーラームーン』、武内直子原作 Féodos Lamodière 訳、Pika Édition、p.21)

(彼はかっこよくて優しいの！)

場面：主人公がゲームセンターで働く男の子を紹介する

対象：男の子

対象は高校生なので外見的には小さいわけではない。しかし未成年ゆえの幼さやあどけなさ、性格的な優しさ等が魅力になり、発話者が温かい気持ちやきゅんとするような気持ちになっている。

- (11) Car, même si nous le trouvions déjà mignon avec ses joues lisses, [...] (*Plurielles*, 26/12/2013)

(だから、私たちがすでに彼のすべすべの頬を魅力的に思っていたとしても、...)

場面：Prince Harry についての記事

対象：Prince Harry

対象は大人の男性であるが、avec ses joues lisses に注目する。「すべすべの頬」は赤ちゃんのような柔らかい頬を連想させる。そのような頬をした対象は、大人であるにも関わらず若くあどけないイメージがつくられている。

- (12) Tu as un tout petit chat trop mignon qui est comme ça et tout ! (東京外国語大学フランス語話し言葉コーパス)

(きみはこんな小さくてかわいい猫を飼っているじゃない。)

対象：猫

un tout petit chat とあるので猫は小さい。小動物ゆえの愛らしさやしぐさ等が発話者にとって魅力的であり、mignon と評価されている。

- (13) Friandises japonaises Savoureuses, drôles et mignonnes ! (『にぼにか』No.12、日本国外務省、p.10)
(日本のお菓子はおいしい！楽しい！かわいい！)

場面：日本のお菓子の紹介

対象：お菓子

ここで紹介されていたお菓子は日本のスーパー等で売られているようなチョコレートやキャンディ、おせんべい等であった。それぞれの小ささや形、またホールケーキや和菓子のような本格的なものではなく子どもや若者をターゲットに作られた手軽なものであることというような、お菓子の外見的特徴とそれを食べる人の年齢層のイメージが mignonnes から推測できる。

- (14) A: C'est un rôle d'éducateur auprès des tout petit de zéro à trois ans.

B: C'est mignon ça. (ESLO2)

(A: 0歳から3歳までの子どもへの教育係のお仕事です。)

(B: いいわね。)

場面：主婦代行サービスの提案をしている

対象：提案

対象は仕事なので物とする。ここでは対象が子どもに関するものであるため、こどものもつ幼さやかかわいらしさのイメージと結びついている。

- (15) Et puis les stands je trouve que c'est plutôt mignon. (ESLO2) ※一部改

(それに会場はとってもかわいいのよ。)

場面：サンタクロース村について話している

対象：(サンタクロース村の) 会場

対象は小さい・繊細なものではないが、サンタクロースに注目する。サンタクロースが子どもにプレゼントを与える存在であること、またそこから連想されるクリスマスの明るくカラフルなイルミネーション等のイメージと結びつき、mignon と表されている。

4.3. 例文分析の結果

mignon の対象は人や物が多かった。対象となるものは単に大きさが問題になるのではなく、大

人や成熟したものと比較され、幼いものや未熟なもの、純粹なものに対するかわいらしさが良いものと評価されている。この点は辞書の記述と少し異なる。物についてはそれ自体が幼いイメージを持つことや、それを使用したり身に着けた人間が実際の年齢よりも若く見えることへの評価であることがわかった。これについてはCEとILの指示対象のとらえ方も関係していると考えられる。

(例文の中でC'est joliは55例中8例(14.5%)観察されたのに対し、C'est mignonは41例中12例(29.2%)観察され、mignonはC'estと結びつきやすいことがわかった。)「CEは名詞をとりまく周囲の状況・そこで生じる事柄・作品や思想など、名詞句そのものではなく、それを含むより拡張された指示を行っている」(東郷、1988)というように、C'estの状況全般を指す働きも合わさって対象だけでなくその在り方や雰囲気もmignonの評価の範囲になっているのではないかと考えられる。実際に収集した例文でC'est joliよりもC'est mignonの方が登場率は高かった。行為については幼く純粹な関係を表している場合や、おとぎ話に出てくる一場面のようにメルヘンチックな行動を表している場合が観察されたが、これも人や物の場合と同様に説明できる。以上をまとめると、視覚的に小さいものだけでなく、成熟したものに対しての未熟なものや幼いもの、また子どもや若さを連想させるようなものに対してかわいい、すてきである、愛らしいという評価をもたらすという点がmignonの共通点であると言える。したがって4.1.で立てた仮説は妥当ではないことが明らかとなった。仮説①については単純な対象の大きさや見た目の繊細さではなく、対象の幼さや未熟さが問題になり、このような幼さや未熟さに魅力を感じた結果の評価になる。②については発話者の感情はmignonと評価する際にあまり関係がない。仮説③は成熟したものととの比較の結果、対象の幼さや未熟さ、純粹さ等が魅力となることがわかった。

5. 両形容詞の差異

これまでの分析結果から両形容詞の意味や用法の差異を明確にしてゆく。joliの用法について特に重要なのは仮説①と仮説③にあるような「対象が視覚や聴覚を通して認識されること」と「対象を認識してagrémentやplaisirの感情が生じること」である。このような感情は対象がagrémentやplaisirであると同時に、joliと言った本人も快楽を感じている。逆にいくら対象を目や耳で認識してもその刺激を受容してagrémentやplaisirを感じなければjoliと言うことはできない。このとき、agrémentやplaisirを感じる際、他のものや理想との比較は行われず、個人の感覚や意見に依存する。このように検証すると、joliは何に対してjoliと思うかではなく対象についてどのような感情を抱くとjoliと言えるのか、ということが重要な点であると考えられる。

一方mignonの用法については、「成熟したものや立派なものとの比較が行われた結果のプラス評価である」という点が重要である。これは比較を行わないjoliとは大きく異なる点である。また対象そのものだけでなく、そこから連想されるイメージ等も評価の対象に含まれることもmignonの用法の特徴である。

これらの結果を以下の表にまとめた。

表3 joli と mignon が持つ特徴

Joli	Mignon
視覚や聴覚で対象を認識	幼さ・未熟さ・小ささが魅力
agrément や plaisir の感情がある	感情は関わらない
比較されずに評価される	成熟したものとの比較評価

6. おわりに

日本語では同じように訳されることの多い joli と mignon だが、その用法や概念には大きな差異があることが明らかとなった。今後は日本語の「かわいい」との対応にも範囲を広げて、比較をおこない、さらに研究を進めてゆきたい。

参考文献

- Quemada, B (1983) : *Trésor de la langue française, dictionnaire de la langue du XIX^e, et du XX^e siècle (1789-1960)*, Tome Dixième (Incartade - Losangique), édition du centre national de la recherche scientifique, Gallimard
- Quemada, B (1985) : *Trésor de la langue française, dictionnaire de la langue du XIX^e, et du XX^e siècle (1789-1960)*, Tome Onzième (Lot - Natalité), édition du centre national de la recherche scientifique, Gallimard
- Drivaud, M-H. et al. (2012) : *Le Petit Robert 2013, Le Robert*
- 田村毅、他(2002):ロワイヤル仏和中辞典, 第二版、旺文社
- 朝倉季雄(2002):『新フランス文法辞典』, 白水社.
- 小田涼(1999):「代名詞 CE と IL の指示対象のとらえ方について」『フランス語学研究』第 33 号, pp.52-57.
- 東郷雄二(1988):「«Mon frère, il est linguiste et le coupable, c'est lui.»—代名詞 IL と CE の用法について」『フランス語フランス文学研究』53, pp.102-111.
- 藤田知子(1992):「beau についての覚書」『神田外語大学紀要』4, pp.213-226.

用例出典

- Françoise Sagan (1991) : *Bonjour tristesse*, POCKET.
- 日訳 安東次男訳(1954):『悲しみよこんにちは』ダヴィット社.
- 武内直子(2003):『美少女戦士セーラームーン新装版①』講談社.
- 仏訳 Traduit par Fédoua Lamodièrre(2003): *Pretty Guardian Sailor Moon vol.1*, Pika Édition.
- 『ふらんす』白水社 (2003年8月~1999年9月).
- Femme actuelle* (<http://www.femmeactuelle.fr/>).
- Plurielles* (<http://www.plurielles.fr/>).
- Vogue hommes international* (<http://www.vogue.fr/vogue-hommes>).
- ESLO2(<http://eslo.huma-num.fr/>).
- 東京外国語大学フランス語話し言葉コーパス(<http://cbllle.tufs.ac.jp/tag/fr/index.php>).

(みずおち りこ / 文芸言語専攻1年)